

第182回: 出雲が出水したと大騒ぎ

英語も中国語も似たようなもので、ニューヨーク・タイムスや人民日報を読んで、最も理解し難いのは記事ではなくてヘッドライン(見出し)である。各メディアのクセや表現力、最近日本で人口に膾炙している話題をある程度押さえておかないとアフォリズムの塊のヘッドラインは理解できない。日本では東京スポーツ(略称東スポ)が昔から有名で、たしか20年くらい前に扶桑社から「東スポ伝説～一面見出し、そこは一行の劇場だ～」という単行本が出版され、ベストセラーになったことがあった。海外で日本語を学ぶアメリカ人や中国人が、「明石家さんま実家が火事で『さんま焼ける』」といったスポーツ紙の見出しを見て、広辞苑を引いても理解できる訳がない。同じ新聞に「ブッチャー感電死」という見出しがあれば、肉屋さんが仕事中に事故死したと読んではいけない。これは「金網デスマッチ」でアブドラ・ザ・ブッチャーがノックアウトされたと言う意味で、こんな見出しを見て手を叩いて喜ぶのは東スポを愛読するプロレスファンだけだろう。

今朝のニューヨーク・タイムスの一面記事「Obama Cancels Putin Meeting as Snowden Adds to Strains」は、オバマ、キャンセル、プーチン、ミーティング、スノーデンとベタに並べれば、strains の意味を知らなくても、何とか意味は通じる。ところが中国語はそうもいかない。

8月7日の中国紙の一面にこんな見出しがあった。「“出雲”出水、日本暗藏什麼心」。中国語ペラペラの日本人でも、前日のジャパンマリンユナイテッド磯子工場のニュースを知らなければ、この11文字の見出しは理解できない。因みに「云」は「雲」の簡体字、「出水」は「進水」、「暗藏」とは「秘密裡に隠す」の意味だ。「“出雲”が進水した。日本がひた隠すその意図は何か」・・・中国各紙は、8月6日に横浜市磯子で挙行された海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」の進水式を1面に写真入りで報じており、「広島原爆の日に合わせて準空母を進水させた」と指摘し、日本の軍事力増強への警戒感を強調した。中国は安倍内閣の主要閣僚(首相・官房長官・外相)による靖国神社参拝の有無や、憲法改正の動きに警戒を強めており、「いずも」の進水式は、日本の右傾化を示す一連の動きと云いたいらしい。「いずも」はヘリコプターを14機搭載する能力があり、改造すれば戦闘機の搭載も可能」と警戒感を露わにしている。進水式に麻生副総理や石破幹事長らが出席したことも、中国を刺激したようだ。

中国報道によると「“出雲”は日本による対中侵略戦争の際に使われた艦船と同じ名前」と指摘し、「中国を含むアジア諸国が不満を強めている」と、韓国か北朝鮮か、どこの国を指しているのか知らないが、他国まで巻き込み、得意の歴史問題を持ち出して日本を非難している。中国が指摘するように、日中戦争に際し帝國海軍の「出雲」というフネが、第三艦隊の旗艦として大轟より上海方面に派遣されたのは事実であるが、あの「出雲」は19世紀末につくられた旧型艦で、全盛期には日露戦争で活躍したこともあったものの、爾来四十年、太平洋戦争が始まったころは、失礼だが中国相手にしか使えないようなオンボロの軽巡洋艦で、喫水の浅い上海沿岸のコーストガードに派遣された次第であった。こないだのコラム178号で筆者が艦名を的中させた「いずも」と「出雲」はコンセプトが全く異なる艦だが、中国から見れば「出雲」憎けりや「いずも」も憎いようで、海自の新型護衛艦の進水は予想以上に中国を刺激してしまった。「出雲とは五穀豊穡を司る

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

八百万(やおよろず)の神が集う恒久平和の地だ」と弁明しても、あの小憎らしい中国外交部の女性報道官はウソ八百だと即座に否定するに違いない。八百万の神のなかには怖そうな天照大神や須佐之男神だけでなく、七福神、天狗、福助、河童、招き猫もいるのだが、彼女は知らんだろう、たぶん。

中国が軍用機を搭載できる艦艇を怖がる気持ちは分からなくてもないが、解放軍は今年扎扎实空母「遼寧」を就航させたくせに、日本が空母を作ったらけしからん、けしからんと騒ぎ立てるのは、公平を欠くではなかろうか。大男がチンチクリンよりも偉いと断定するつもりはないが、「遼寧」は推定排水量(満載)67,000トンの正規空母で、一方「いずも」は同27,000トンの護衛艦にすぎず、中身はともかくテキの方が遙かに大兵肥満である。中国がそんなに「いずも」と云う名前が嫌いであれば、筆者に命名権があれば即座にかの山口多聞提督が坐乗した「飛龍」に変えて差し上げるのだが、そうなれば騒ぎはますます広がるだろう。中国各紙は「改造すれば戦闘機の搭載も可能」と報道しており、まさか日本側も「ご心配なく、改造しなくてもホーカー・シドレー・ハリヤー級のV/STOL戦闘機なら幾らでも積めますよ」とも云えないので、黙っているのが得策だ。

「飛龍」や「蒼龍」といった「龍」はもともと中国の神獣で、歴代皇帝のシンボルだから小日本ごときが使用するのはいけしからんと云うのなら、弊社や日本航空がシンボルマークに使っている「鶴」を使えばよいだろう。平和への願いを込めて、護衛艦「翔鶴」、「瑞鶴」とでも命名すれば文句を云われる筋合いはない。中国がそれでも執拗にクレームをつけてきたら、防衛大臣か外務大臣が記者会見で「この護衛艦は日本語で“鶴”と書いて“鷺(サギ)”と読みます」と切り返せば、答弁としても一流だ、通訳は目を白黒させて七顛八倒するだろうが。冗談はさておき護衛艦「いずも」は戦闘機搭載を想定しておらず、今後もヘリコプター搭載艦として運用してもらいたいものだが、日本を取り巻く周辺国のなかに「千里東西波越えてわれに仇なす国」が出現し、日本がやむなく対象国に指定するような事態となれば、近々ローンチする「いずも」の姉妹艦、「いわて(筆者の独断による仮称)」の設計を変更し、V/STOL スペックに切り替えるかもしれないよ。

今週沖縄の米軍基地内に墜落し、いま日本中が大騒ぎしているHH60ヘリは東北大震災のとき米軍の「トモダチ作戦」で大活躍した大型の救難ヘリである。マスコミは墜落事故で米軍を一斉に批判しているが、批判する前に殉職した軍人及びその家族に対する追悼の言葉が必要だ。それが日米のパートナーシップの基本である。「いずも」とそれに搭載するHH60等のヘリは日本の醜の御楯なのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年8月8日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。